

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（松井毅君）

潜在保育士の復職支援策についての御質問にお答えをいたします。

近年、保育ニーズの多様化から、保育士の確保は大変重要な課題となっております。昨年石川県において、就業意思のある未就職保育士の実態調査が行われ、本市には56人の情報提供があったところです。

本市といたしまして、県との連携を密接にし、保育士の実態把握に努めるとともに、市広報やホームページを活用して積極的に周知し、確保に努めているところでございます。

次に、復職支援策といたしましては、県においては保育士が職場に不安なく復帰できるための研修会が開催されております。また、本市においても定期的に保育士の質向上に向けた研修会を実施しているところでもございます。

保育士の処遇の改善につきましては、職場復帰に際し、希望に沿った短時間雇用を取り入れており、昨年1年間では165人を雇用するなど、勤務の面で負担軽減に配慮をいたしているところでございます。

民営化に伴う法人保育園の保育士確保や多様化する保育ニーズの対応にも有益であり、潜在保育士の復職支援策は効果的な取り組みであると考えております。

以上です。